



奨 励 賞



①湖面に15棟のトレーラーハウスが並ぶグランピング ②夕食は地元食材をふんだんに使ったバーベキューを用意 ③地元作家による雑貨やフードが集うマルシェ ④町産の米粉を使った人気の高根沢ジェラート

道の駅たかねざわ 元気あっぷむら

株式会社塚原緑地研究所

塚原道夫・山本絢哉・阿久津和男・戸塚有介・金井拓見・一宮義行

栃木県内25番目の道の駅として2020年にリニューアルした「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」。前身である「元気あっぷむら」は、1997年に温泉施設としてオープンしたものの、経営難が続き2019年に当時の指定管理者が撤退した。当社は道の駅として登録された本施設の指定管理者に選定され、経営再建に取り組んでいる。

再建にあたり、開業前はリニューアル事業の設計監修の立場から施設計画・設計において指導・助言を行った。運営面では本施設の再生ビジョンを示して、町内の農家、商工事業者、観光事業者、クリエイター等と連携しながら魅力ある施設づくりに努めている。コロナ禍で消費者行動が変化するなか、コンセプトである「行きたくなる場所、ここにしかない空間」を体現すべく試行錯誤を繰り返しながら様々な取り組みを行っている。

作品概要

作品名—— 道の駅たかねざわ 元気あっぷむら
所在地—— 栃木県塩谷郡高根沢町上柏崎588-1
発注—— 高根沢町
管理運営—— 株式会社塚原緑地研究所
協力会社—— 株式会社baobab、有限会社伊澤いちご園
規模—— 18.4ha
設計—— 株式会社フケタ設計、株式会社酒井建築設計事務所
施工—— 株式会社熊谷組、渡辺建設株式会社、竹石建築株式会社
期間—— (設計監修)令和元年5月1日～令和2年3月31日
(管理運営)令和2年4月1日～令和7年3月31日
主要施設—— ・温泉ゾーン:温泉、レストラン、売店、多目的ホール、宿泊棟、研修室、大広間、等
・食のゾーン:農産物直売所、農産物加工施設、レストラン、体験学習施設 炭焼き窯 等
・池のゾーン:親水公園、グランピング
・森のゾーン:自然の森、遊歩道
・道路休憩ゾーン:道の駅情報提供施設、トイレ

作品評

この業務は、ランドスケープコンサルタントが公共施設である「道の駅」の指定管理事業に参入し、指定管理者として経営不振の施設を再建に導いたものである。

応募者はコロナ禍という困難な状況の中で施設の営業を再開させ、「利用者ターゲットの絞り込み」、「新たなイベントの開催や情報発信」、「地域資源の活用」というコロナ後を見据えた3つの施策に取り組み、温泉施設・宿泊棟・グランピングなどの整備を行って、稼働率を7割にまで回復させるという大きな成果を上げている。

マネジメント部門には、目標・課題への対応力、地域社会との連携、業務の遂行に向けた独創性や新規性などの評価項目があり、本業務はそれらに対して十分評価できる内容が盛り込まれているが、審査資料の表現や構成に改善の余地があるとの指摘もあり、奨励賞となった。